

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公表番号】特表 2004-503598 (P2004-503598A)
 【公表日】平成 16 年 2 月 5 日 (2004.2.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-005
 【出願番号】特願 2002-511773 (P2002-511773)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 38/46 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/54

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 9/02

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 29 日 (2007.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 II 型糖原病の治療、または II 型糖原病に関連する心筋症の治療のための医薬であって、チャイニーズハムスター卵巣細胞培養物において産生されるヒト酸 α -グリコシダーゼからなる医薬。

【請求項 2】 II 型糖原病が、幼児 II 型糖原病、若年性 II 型糖原病、または成人発症 II 型糖原病である、請求項 1 記載の医薬。

【請求項 3】 ヒト酸 α -グリコシダーゼが、体重の 1 キログラム当たり 15mg 未満の酸 α -グリコシダーゼの投与に適した形態で提供される、請求項 1 または 2 記載の医薬。

【請求項 4】 ヒト酸 α -グリコシダーゼが、体重の 1 キログラム当たり 1 ~ 10mg の酸 α -グリコシダーゼの投与に適した形態で提供される、請求項 3 記載の医薬。

【請求項 5】 ヒト酸 α -グリコシダーゼが、体重の 1 キログラム当たり約 5mg の酸 α -グリコシダーゼの投与に適した形態で提供される、請求項 3 記載の医薬。

【請求項 6】 ヒト酸 α -グリコシダーゼが、組換えヒト酸 α -グリコシダーゼである、請求項 1 ~ 5 いずれか記載の医薬。

【請求項 7】 ヒト酸 α -グリコシダーゼが、チャイニーズハムスター卵巣細胞培養物において産生される組換えヒト酸 α -グリコシダーゼの前駆体である、請求項 1 ~ 5 いずれか記載の医薬。

【請求項 8】 毎月、月に 2 回、毎週、週に 2 回または毎日である規則的な間隔で投与される、請求項 1 ~ 7 いずれか記載の医薬。

【請求項 9】 投与間隔が時間経過に伴って変化する、請求項 1 ~ 8 いずれか記載の医薬。

【請求項 10】 静脈内、筋肉内、髄腔内および脳室内からなる群より選ばれた経路によって投与されるように調製される、請求項 1 ~ 9 いずれか記載の医薬。

【請求項 11】 免疫抑制剤をさらに含んでなる、請求項 1 ~ 10 記載の医薬。

【請求項 1 2】 免疫抑制剤と組み合わせて、または免疫抑制剤に続いてヒト酸 α - グリコシダーゼを投与するために、ヒト酸 α - グリコシダーゼと免疫抑制剤とを組み合わせた製剤である、請求項 1 ~ 1 1 いずれか記載の医薬。

【請求項 1 3】 個体における II 型糖原病の治療のための、または個体における II 型糖原病に関連する心筋症の治療のための医薬の製造のための、チャイニーズハムスター卵巣細胞培養物において産生されるヒト酸 α - グリコシダーゼの使用。

【請求項 1 4】 医薬が請求項 1 ~ 1 2 のいずれかに記載のものである、請求項 1 3 記載の使用。